



TSURUGASHIMA ROTARY CLUB

# 鶴ヶ島RC会報



2019-2020年度 R.I 会長 マーク・ダニエル・マローニー

第2570地区ガバナー 鈴木 秀憲

第一グループガバナー補佐 藤島 弘士

鶴ヶ島 RC 会長 横山 明美

鶴ヶ島 RC 幹事 平山 実

第1821回例会 令和元年8月28日(水)  
例会場 アルカーサル迎賓館川越

【開会点鐘】 12:30 横山明美会長

【開会】 SAA 佐々木龍児君

【お客様紹介】 横山明美会長



小江戸ロータリークラブ 福山健朗様

【会長の時間】 横山明美会長

「考えよう 海洋プラスチックごみ」

- 1、海洋ごみの定義
- 2、海洋ごみの種類  
個数:65, 8% 容積:48, 4% 重量:23, 3%
- 3、海洋ごみの発生地域  
全世界の80%はアジア地域からの排出となる。
  - ①人口の違い
  - ②各国国民の、環境教育レベルの差が大きい  
→日本の様に、排出する物の分別を行なっているアジアの国は無いと思う
- 4、日本のプラスチック廃棄量
  - ①世界第2位 1位はアメリカ
  - ②平成28(2016)年度に全国で回収した漂流ゴミ→約3万トン(プラスチックごみが最も多い)

③外国からの漂流ゴミもあるが、多くは国内からのごみ

## 5、海洋のプラスチックごみの問題

- ①マイクロプラスチックとは、5mm 以下のプラスチックの事
- ②①1次的マイクロプラスチック→マイクロサイズで製造されプラスチックの事(洗顔料、歯磨き)
- ②②2次的マイクロプラスチック→大きなサイズで製造、自然環境に於いて紫外線等で破碎、細分化されたプラスチックの事
- ③海洋生物が餌と誤認して飲み込む、漂流するごみに絡まる等で絶命

## 6、今後の取り組み

- ①日本の廃プラスチックのリサイクル率→27、8%
- ②燃焼して、発電や熱利用している→50%以上
- ③未使用で焼却や埋め立てしている→14%

## 7、私達にできること

- ①国の呼び掛けや世界的な脱プラスチックの高まりを受けて、各企業は取り組みを始めた
- ②個人で可能な取り組みに付いて考えてみる
- ③無理をせず可能な範囲で、継続して実行できる事を行う

【幹事報告】 平山 実幹事

1. 川越西 RC・東松山RC・坂戸さつきRCの年度計画書が届いております。
2. 米山記念館 館報の件
3. 交通安全フェアのご案内
4. ロータリー友 今月の見どころ
5. 学友会ニュースの復活の件
6. 水かけ祭り 協賛お礼の件
7. 日韓親善会議 参加登録お願いの件

【委員会報告】

齊藤勇司ロータリー財団委員会資金管理

小委員会委員長

8/17日財団セミナー報告

【出席報告】

青柳英史委員長

会員数	出席者	出席 免除者	免除 出席者	出席率	修正 率
29名	26名	2名	2名	87%	

◎ニコニコBOX

- \* ジャズフェスの告知に来ました。宜しくお願ひ致します。 小江戸ロータリークラブ 福山健朗様
- \* 福山様ようこそおいで下さいました。戦略委員会の皆様宜しくお願ひ致します。 横山明美君
- \* 福山様ようこそおいで下さいました。 川野 昇君  
内野麒一君 内野一夫君 中嶋清君  
清水良一君 松崎峰夫君 岸田喜好君  
齊藤勇司君 木村好伸君 長峰秀和君  
齊藤大祐君 西澤克己君 木村武志君  
佐々木龍児君 山岡達生君 青柳英史君  
森治高央君
- \* 鶴ヶ島RCの将来がどうあるべきかをしっかり認識できるよう戦略計画をしっかり進めよう。福山さんようこそ。 山根義法君
- \* 8/24日国立会館い於いてRLI委員会とDLとの合同会議に出席しました。今年度のRLIは9月・11月・3月に行こなわれます。 宮前典子君
- \* 本日の例会担当です。ご協力宜しくお願ひ致します。 鴨下三夫君
- \* 9月欠席がちになりますが、宜しくお願ひ致します。 山中基充君
- \* やっと昨日で夏期講習が終わりました。お休みして申し訳ありませんでした。 内田敬子君

【クラブ協議会】

戦略計画部門委員会

(RLI方式によるディスカッション)

グループA DL:西澤克己 書記:長峰秀和

■姉妹クラブについて

- ①台北と鶴ヶ島の会員構成が異なっている。  
→若い会員の仕事などを考慮した、簡素化した付

き合いを検討しては。

- ②継続すべきだと思う。(どのように取り組むかは検討しましょう。)
- ③ 互いの関係性について考えてみてもいいのでは。
- ④ 姉妹クラブ・友好クラブの違いについて
- ⑤→姉妹クラブは調印があり、友好クラブは親睦を図っている  
→台北との交流のいきさつについて説明有  
→友好クラブとは合同での活動を通じてあるべき形を模索しましょう。
- ⑥ 交流は良いことなので受益者負担で継続したほうがいい。
- ⑦ 台北には行ってみたい。
- ⑧ 台北との交流を通じて、国際理解が深まるので継続してほしい。

■サッカー大会について

- ① サッカー部会は喜んでいる。  
→他の事業が見つかるまでは継続すべきです。
- ② 鶴ヶ島のチームに勝ってほしい(低学年での開催など模索してはどうか)
- ③ サッカー部会の頑張りなどあり、認知度が上昇しているの、継続すべき。
- ④ 県外チームの参加などサッカー部会はまとまりがあるので、継続すべき。
- ⑤ 鶴ヶ島ロータリーはサッカー大会主催しているとの認識があるので、継続すべき。
- ⑥ 予算的にも継続して問題ないのでは。
- ⑦ 当初目的にもサッカー大会は合致しているので、継続すべき。



グループB DL:齊藤大祐 書記:佐々木龍児

■サッカー大会について

- ① 続けられる限り継続
- ② 継続すべき(負担はそんなにない・PR 効率が良

- い)
- ③ 中止すべき(もう少し費用のかからない事業)  
→もう少し狭い範囲での大会にしてはどうか。
  - ④ 継続した方が良い
  - ⑤ 基本は継続・サッカー協会と話し合いすべき
  - ⑥ サッカー大会以外の日のあたらない事業等にも  
力を入れるべき
  - ⑦ クラブのPR効果は高いと思う
  - ⑧ 続けた方が良い
  - ⑨ 続けた方が良い
  - ⑩ 賛成。地域を絞って実施はどうか
  - ⑪ 始まった経緯が分からないので何とも言えないが
  - ⑫ マンネリ化するのならやめた方が良いのでは？

■記念大会(サッカー)について

- ① 協会の人たちと協働でイベント実施してはどうか
- ② 記念大会として何かを企画すべき
- ③ 協会と相談すべき
- ④ 記念大会ではなく例年通り・従来通りで良いと思  
う
- ⑤ 格好付ける必用はない
- ⑥ 記念大会にすべき・多少の変化があっても良い  
のでは
- ⑦ はじめた当初の先輩方の意見も聞いてみてはど  
うか
- ⑧ 記念大会ではなく、今まで通りが良い
- ⑨ 映像撮影などして参加者に配る等はどうか
- ⑩ RCの動きも撮影して、ついでにPR動画としても  
使用してはどうか
- ⑪ 記念大会なら内々で出来る何かを。
- ⑫ 対外的に人を呼んだり等は予算や人員の兼ね合  
いで厳しいのでは

■姉妹クラブとの交流の関係性をどうするか？

■3年毎の調印式は続けるべきか？

■例年通りの交流を続けるべきか？

■友好クラブを増やすべきか

- ① 台湾との交流→基本継続だが、毎年交互の良好  
は変えた方がよい
- ② 世界大会に合同で参加すべき
- ③ 台湾との交流→参加出来る人が少ない

- ④ 当初は20名だったが実際には10名くらいになっ  
てる
- ⑤ マンネリ化・飽きが来ている
- ⑥ 調停式は継続すべき
- ⑦ 基本はそのまま継続
- ⑧ 言葉の問題(実際、会話が来ていない)
- ⑨ 他の地域との交流も広げては？ハワイとか(英語  
圏)
- ⑩ 従来通り付き合いを続ける
- ⑪ 伝統が有るのでやめるというのは難しい。
- ⑫ 3年に一回の調停式だけで良い。
- ⑬ 毎年の行き来はやり過ぎ。



【閉会点鐘】13:30 横山明美会長



事務所：鶴ヶ島市商工会館内

鶴ヶ島市鶴ヶ丘 855 TEL049-271-6600

FAX049-271-6610

例会場：アルカーサル迎賓館川越

川越市鯨井新田4-11 TEL049-231-7777

E-mail:tsurugashima.rc@ah.wakwak.com

ホームページURL <http://tsurugashima-rc.jp>